

子供たちが「感動」体験

海洋アドベンチャースクール——感動を求め北海道へ



▲船内でバシヤッ！



▲海も北海道も大きいぞー



▶ 倶知安町の仲間（写真右から4人目）と町内探索。倶知安町の方（写真右）ありがとう！

▶ アイヌの衣装、似合ってます



▶ 急な流れもなんのその

第5回海洋アドベンチャースクールは7月30日～8月3日の日程で行われ、村内の小学6年生83人が4泊5日の感動体験の旅をしました。

7月30日、一行は仙台港からフェリーで北海道へ。船内に一泊し、翌31日に北海道苫小牧港に到着。この日はアイヌ民族博物館ポロトコタンへ。ここで子供たちはアイヌの民俗衣装に身を包み、

アイヌの古式舞踊や「ムツクリ」の演奏、アイヌ食を体験しました。

8月1日は地元倶知安町の子供たちと一緒に、地図を片手に倶知安町の探索をしました。この探索で子供たちは、地名や施設、道を訪ねるなどして倶知安町の人たちと交流。自分たちの質問に親切に接してくれる地元の人たちに、子供たちはとても感動したようでした。

8月2日は子供たちが楽しみにしていたラフティング。尻別川をゴムボートで下る子供たちは、巧みにオールを操りながら流れに挑んでいました。3日、帰りの船の中で子供たちは、4泊5日のこの旅で得た多くのひとのふれあいと貴重な体験、そして感動を胸に刻んでいました。

第2回

夏休み! 海と山で

いい
いたて
大自然塾

自然を大満喫



◀テント設営も
みんなで協力して



▲高校生は頼れる“お兄さん”



▲火おこしのようす。昔の人の
苦勞がわかったかな



▲夕食だー。
みんなで作ったカレーはうまい!



▲きりたんぼづくりに挑戦! うまくできるかな

8月7日～9日、村民の森あいの沢で第2回いいいたて大自然塾が行われ、小学校4年生48人が自然の中の暮らしを体験しました。

この事業には、ボランティアとして飯舘分校の生徒9人も参加し、期間中の子供たちの仲間、指導者として活躍しました。

2泊3日の塾は、テントの設営から始まり、火おこし、星の観察に化石発掘など盛りだくさんの内容。

期間中、子供たちは夏の暑さも何のその。持ち前の素直な明るさと元気のよさを発揮して塾を楽しんでいました。また、高校生たちとも仲良く会話を交わしていました。

子供たちからは、「化石が見つかっておもしろかった」「たくさんの友だちに会えてよかった」などの感想が話され、いいいたて大自然塾を存分に楽しんだ様子でした。